

その他フェロモントラップ誘殺消長
 [令和8年(2026年)調査]

病害虫防除部

【ナシヒメシンクイ発生生態】

- ・リンゴ産地では主に年4回程度発生する。
- ・越冬世代成虫は4月下旬頃、第1世代成虫は6月、第2世代以降の成虫は8月～9月頃に発生し、最後の老熟幼虫が越冬する。
- ・第1世代成虫がモモ、スモモ、アンズなどで芯折れ被害を引き起こす。

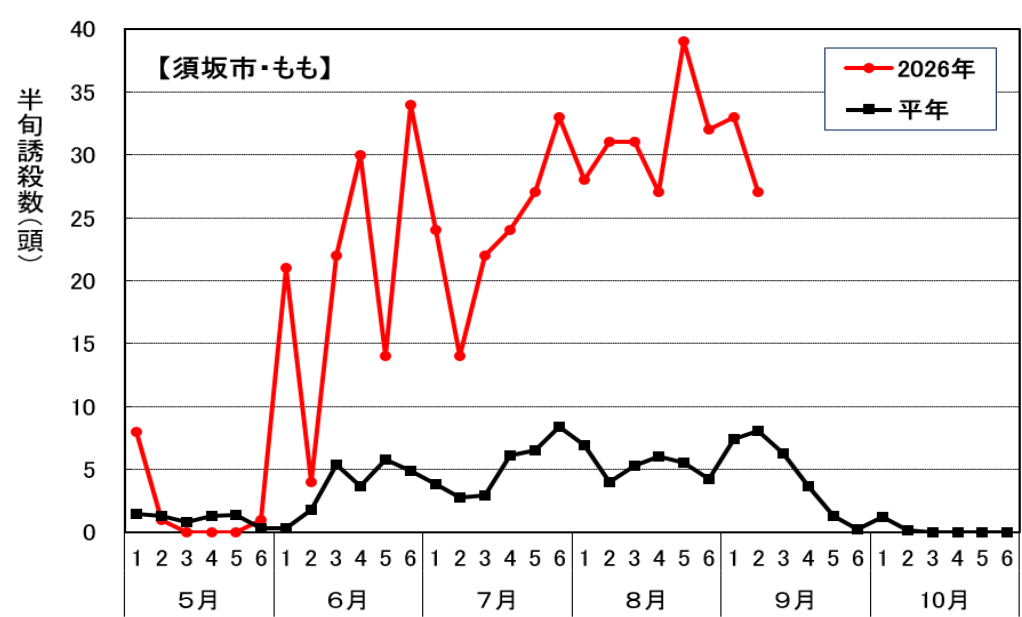
【モモノゴマダラメイガ発生生態】

- ・年3回発生する。越冬世代成虫は5月中旬から7月上旬、第1世代成虫は7月下旬から8月下旬、第2世代成虫は8月下旬から10月に発生する。老熟幼虫で越冬する。
- ・越冬はクリやカキなどが多く、越冬世代成虫の産卵はモモやスモモが多いため、カキ、クリ近隣のモモは被害が出やすい。第1、第2世代の成虫はクリ、カキに産卵する。
- ・果実の食害量は大きい。

【コスカシバ発生生態】

- ・年1回発生であるが、発生期間は5月から10月と長期間にわたる。幼虫もしくは蛹で越冬する。
- ・幹に食入するが、被害が大きくなると、胴枯病等も併発し、樹が衰弱する。

○ナシヒメシンクイ（須坂市・病害虫防除部）



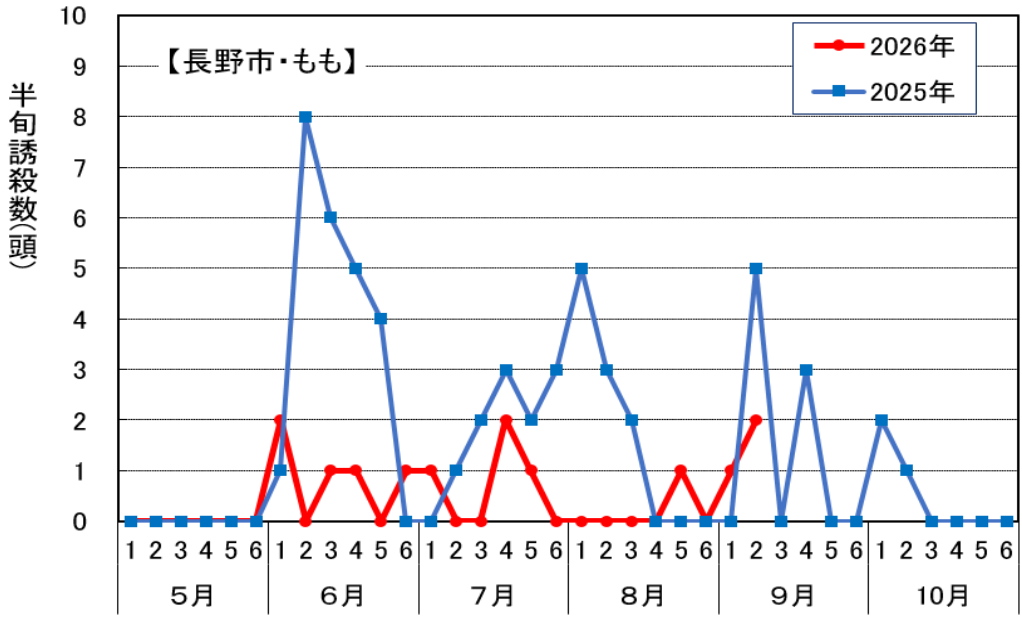
【調査地点】（標高約 350m）

- ・須坂市（ももほ場）
- ・平年は 2016 年～2025 年の平均値

【コメント】

- ・もも園設置の本トラップには、6月以降常に平年よりかなり多い数が誘殺され続けている。設置した園地では芯折れ症状をみかけることも多い。
- ・8月第5半旬にはここまでの最大値、半旬 40 頭を記録している。その後減少してきているが、まだ 30 頭前後が誘殺されている。

○モモノゴマダラメイガ（長野市・病害虫防除部）



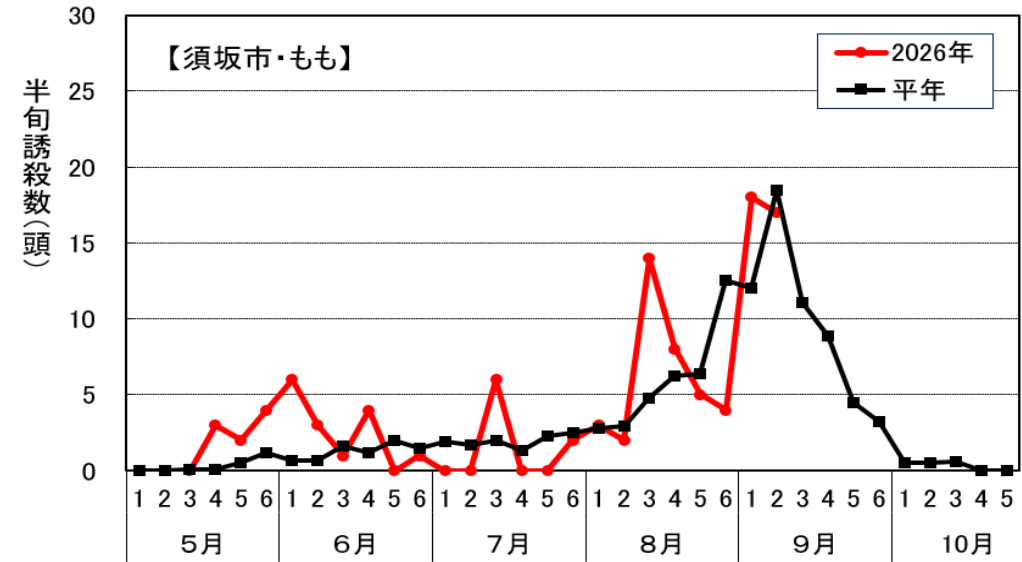
【調査地点】（標高約 340m）

- ・長野市（ももほ場）
- ・2023 年には場変更したため、平年値なし。

【コメント】

- ・昨年に比べると、本年のここまでの誘殺頭数は少ない。
- ・昨年は9月にある程度の誘殺があり、本年も第1、第2半旬とも若干誘殺を記録した。

○コスカシバ（須坂市・病害虫防除部）



【調査地点】（標高約 350m）

- ・須坂市（ももほ場）
- ・平年は 2016 年～2025 年の平均値。

【コメント】

- ・本種の誘殺は、例年9月になってから、1年で一番多い時期を迎える。今年度も多少の増減はあるが、7月第6半旬以降誘殺され続け、ここまでおおよそ右肩上がりとなっている。
- ・例年のピークは9月の上旬であり、本年もそうなりそうな気配が感じられる。